

豊岡市立弘道小学校 NO.5

学校だより

【学校教育目標】「考え つながり 学び続ける子」

弘道小学校ブログ<http://koudoues.blog.fc2.com>

週1~2回更新中。
ぜひご覧下さい。



文責 内海忠裕

令和5年6月15日

弘道小学校創立150周年

◆6月17日(土)は弘道小学校の創立記念日です。明治6年(1873年)に創立され、今年で150年(150才)となります。創立記念日は何度か変更があり、100m校舎と言われた現出石振興局の場所にあった旧校舎が落成されたのが昭和18年3月26日でした。昭和48年10月には創立100周年記念式典が行われました。創立記念日が6月17日に改められたのは、32年前の現校舎の落成式からです。

◆しかし、もともとは、それをさかのぼること約100年。1775年(安永4年)に出石藩の藩校(武士の学問所)としてつくられたのが、弘道小学校の前身である「弘道館」です。それを数えると248年(248才)となります。まさに歴史と伝統のある学校です。

弘道小学校の名前の由来にもなっていますが、出石藩の教えとしては、「人こそが道を弘める」。つまり、『教育は人なり』ということで、この世で大切なものは、お金や建物でもなく、人を育てることだという教えです。人を育てることが一番大切だと考え、とても教育に力を入れてきたのが「弘道館」です。



↑「弘道館」(校長室)



↑「仰之弥高」(校長室)

◆次のような説明パネルが弘道小学校に掲示してあります。

「弘道館」(昭和58年3月22日豊岡市指定文化財)

校長室にある「弘道館」の文字は出石城のお殿様(仙谷久行)が書いたものです。「弘道館」はお侍さんの子ども達が通っていた学校です。

「弘道」は道(人として大切な考えや行い)を弘める(たくさんの人たちに広めて幸せな世の中にする)という意味です。

明治時代にはこの学校の卒業生が日本の国づくりにたくさん活躍しました。

弘道小学校の名前は、この「弘道館」の名前を受け継いで付けられました。

「仰之弥高（これを上げば いよいよ 高く）」（昭和58年3月22日豊岡市指定文化財）

弘道館には至聖殿（しせいでん）という建物がありました。通っていた子どもたちは立派なお侍さんになれるようにたくさん勉強しました。その教えを考えた人は昔の中国の孔子（こうし）という先生です。この先生を拝むための建物が至聖殿（しせいでん）で、そこにこの字が飾られていました。

松平定信という江戸時代に活躍した人に、出石のお殿様が頼んで書いてもらいました。

孔子の教えは、「勉強すればするほど立派な人だと感じる事ができる。」という教えです。

- ◆今年が創立150周年記念事業が行われます。卒業生、在校生、教職員、保護者や地域の方々みなで、150年も続いていることをお祝いし、これからもずっと弘道小学校が素晴らしい学校であり続けるよう、思い出に残る1年間にしていきたいと思います。

5年生が自然学校に行ってきます（6/19～6/23 3泊5日）

5年生38名が、自然学校に出発します。今年は3泊5日の日程で、山や海辺での自然体験活動に取り組みます。コロナ禍で、体験活動が減少していました。5年生の子どもたちも、3年間の制限のある生活を送ってきましたので、この1週間はとても貴重な体験となることでしょう。

すでに、様々な事前学習を重ねていて、他校の仲間たちと協力しながら、価値ある1週間にしてほしいと思います。「自分で考え、取り組む」「仲間と協力する」「失敗を乗り越える」「自信をつけてくる」教室の中ではなかなかできない実体験を大切に、5日間成長を続けてほしいですね。



オープンスクール、ありがとうございました

6月8日（木）はオープンスクールを行いました。保護者、ご家族限定でしたが、子ども達の様子、教育活動の一部をご覧いただきました。感想を紹介します。

- ◎先生が「ほめる」、子どもの意見を「活かす」ご指導が印象的だった。
- ◎手を挙げてたくさんの子供が発表していた。先生も、みんなの意見をすくい上げておられた。
- ◎4年生から1学年分大きくなって、みんなずいぶん落ち着いていた。友達の横に行きさりげなく取り組む姿や、自分で黙々と集中している姿が印象的だった。
- ◎授業への意欲がありとても良かった。
- ◎前回より子どもの学ぶ姿勢は良くなっていた。
- ◎廊下ですれ違った5・6年生のあいさつが素晴らしかった。
- ◎展示物が増えていてよかった。
- ◎子ども達も参観している親も笑顔が多くてよい時間を過ごせた。
- ◆授業後半になると集中できない子がいた。
- ◆教室が狭く、窮屈に見えた。
- ◆構造上仕方ないが、廊下や階段に虫の死骸があった。

